

企業名： あらた

レポート名： 統合報告書 2022

1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

経営理念「永遠に世の中のお役に立ち続ける」という想いを基に暮らしをもっと豊かに快適に変えるあらたな価値の提供を目指していることが理解できる。将来の姿としては長期経営ビジョン 2030 の記載があったため、具体的にどのような取り組みを目指していくのかという点もこの統合報告書から読み取ることが出来る。2030 年、さらにはその先も見据えて経営戦略チームのメンバー鼎談の記述があったが様々な変革や取り組みについて、多くの内容が盛り込まれていて、漠然とした考えでも将来に向けて力を入れていくことだけでも強調して記述されているとわかりやすいなと感じた。

2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

企業の強みとして、営業、E コマース、海外、商品、ペット用品に関する商品、物流、システムの項目に分けて多数のページを使って独自の取り組みや工夫が詳細に記載されており、日本最大級の卸商社である理由を理解でき、競争優位性をもつことが分かる。さらには ESG(Environment Social Governance)でそれぞれの項目での取り組みについて書かれ絵折リ企業体制からも競争優位性が理解できる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

企業の強みを生かし、それらの優位性の継続やさらなる発展にむけての取り組みの記載もあった。各項目の中で、例えば商品の項目には強みの他に化粧品カテゴリーの強化についての記載もあり、持続的に競争優位性を保っていけることが予測できる。

社長メッセージの記載ページから、成長戦略と生産性向上についての内容が読み取れるためさらなる企業発展が見込まれる。

「プライム市場」への上場もしたこともあり、環境や気候変動という観点でも貢献していけるように ESG への真摯な取り組みを目指していくことが会長メッセージから読み取れる。

企業体制として役員紹介やコンプライアンス、リスクマネジメントについての記載があった。さらにコーポレートガバナンスは委員会やコーポレートガバナンス制度に関してどのように行われているのか、なにを基準にしているのか、どのくらい実施しているのかまでわかりやすく詳しく説明されており、企業体制の安全性、透明性が明らかになっているため、

会社経営側の観点から見ても、優位的に持続可能であることが推測出来る。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

人材育成にとっても力を入れていることが理解できる。p37 に育成方針、研修についての記載があり多種多様な育成制度があることが一目で分かる。しかし一つ一つの育成制度についての詳細は記載がなかったため、特に力を入れている制度についてだけでも、例や説明があると、より自分の人的資本価値が高められることが理解できると思う。販売検定士や日本化粧品検定など個人のスキルアップとして資格取得に励むことが出来る点も人的資本の価値向上に繋がる。他にも議論の多様性などの観点から、女性の活躍の場を広げようと女性管理職率の向上も計画に組み込み、働きやすい職場作りをしている点や、次世代経営者の育成として40代から取締役に加えて経営会議に参加するようにしている点も自身の人的資本の価値を高められる環境があることが理解できる。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

力を入れていることにページを割いていてどのように「永遠に世の中のお役に立ち続ける」という企業理念達成に努めているかがとても理解できた。財務情報が財務サマリーで1ページに決済短信に記載されているような形で主にデータの数値が表になっているだけなので、グラフの記載をもっと大きくしたり、この年ごとの数値の推移からの経営成績や情報についての記述をしたりしたほうがよりわかりやすい統合報告書になると思う。

中期経営計画2023と長期経営ビジョン2030が社長メッセージ、副会長メッセージの途中に載っていた。将来の計画をみて、企業評価や予測も変わってくると思うので、もっと大々的に見出しをつけ、どのような経営戦略で計画達成を目指すのかを記載してある方が企業の成長をみれて信頼を得ることが出来るのではないかと考える。さらに今年が中期経営計画の最終年であるが、目標数値を高めていることから、元の中期経営計画達成確実といえる。そのような結果になった要因が気になったのでその点も明らかにして統合報告書に記載されていると良いのではないかと感じた。ESGの取り組みとして対応するSDGsのマークの記載があり環境に向けての取り組みをしていることも一目で理解出来るようになっており、とてもわかりやすかった。